

参考資料4 折り鶴寄贈者へのアンケート調査結果

1 目的

今後の検討委員会で議論を進めていくうえでの参考情報とするため、折り鶴寄贈者に対して、昇華させることについての意向に関するアンケート調査を実施する。

2 実施方法

平成22年度(2010年度)に原爆の子の像に折り鶴を捧げられた方のうち、341の個人・団体に対し、アンケート調査票を郵送・回収

3 実施時期

平成23年(2011年)9月18日(日)に調査票を発送し、9月29日(木)までに返信されたものを集計

4 アンケートの実施結果など

(1) 有効回答数

196人・団体

(2) アンケート結果

回答者の属性

ア 個人

区分		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	不明	合計
男性	人数	0	1	0	1	1	1	3	1	8
	構成比	0.0%	0.5%	0.0%	0.5%	0.5%	0.5%	1.6%	0.5%	4.1%
女性	人数	1	5	5	11	9	24	25	0	80
	構成比	0.5%	2.6%	2.6%	5.6%	4.6%	12.2%	12.7%	0.0%	40.8%
不明	人数	0	0	0	0	0	3	0	0	3
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%	1.5%
合計	人数	1	6	5	12	10	28	28	1	91
	構成比	0.5%	3.1%	2.6%	6.1%	5.1%	14.2%	14.3%	0.5%	46.4%

イ 団体

区分	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	地方公共団体
人数	2	5	4	3	23
構成比	1.0%	2.6%	2.0%	1.6%	11.7%
区分	福祉施設	企業	その他		合計
人数	23	5	40		105
構成比	11.7%	2.6%	20.4%		53.6%

回答者の住所・所在地

区分	広島市内	広島県内	広島県外	海外	合計
人数	1	0	194	1	196
構成比	0.5%	0.0%	99.0%	0.5%	100.0%

抵抗感の有無

「抵抗感がある」と答えた人は1%にとどまり、抵抗感は極めて少ないという結果が得られた。抵抗感の内容は、特定の方法に反対するものであり、昇華させること自体に抵抗感があるものではない。

区分	抵抗感なし	抵抗感あり	無回答	合計
人数	192	2	2	196
構成比	98.0%	1.0%	1.0%	100.0%

【抵抗感がある理由】

- ・再生紙や焼き上げに抵抗感はないが、記念品やお土産として贈呈された場合、粗末に扱われる場合もあると思う。

昇華させる方向性に対する意向

折り鶴の取扱いについて、これまでと同様に折り鶴ブースで展示し、その後一旦保管したうえで昇華させるという方向性で良いと思うかとの問いには、「はい」と答えた人が97.5%と、昇華の取組が折り鶴を捧げた人の思いに概ね沿ったものであるという結果が得られた。

支持する理由としては、「昇華させることで形が変わっても思いは共有され、心に残り、継承される。」といった昇華による効果を評価するもの、「思いを大切にされていると感じる。」など昇華の取組自体を評価するもの、「膨大な量の折り鶴の保管には限度があり、その後の処理は負担の少ない方法で市に任せる。」といった長期保管による負担を軽減することを重視する意見が数多く見受けられた。一方、「いいえ」と答えた人の理由についても、今よりも短い展示期間とすることを望む意見や、特定の昇華方法を支持する意見など、必ずしも昇華の方向性に反対する趣旨のものではない。

区分	はい	いいえ	無回答	合計
人数	191	3	2	196
構成比	97.5%	1.5%	1.0%	100.0%

ア 支持する理由

(ア) 昇華の取組の効果に関する意見

- ・昇華させることで形が変わっても思いは共有され、心に残り、継承される。(8)
- ・昇華させることで平和への祈りがより深く大きなものとなる。(2)
- ・沢山の人に関わることで感謝と親しみの気持を持ってもらえる。
- ・一時展示されることで思いは伝わり広がっていく。

(イ) 昇華の取組自体を評価する意見

- ・こんなに「思い」を大切にいただき心遣いに感謝している。(8)
- ・昇華の考え方や取組を知り、感動した。(6)
- ・捧げることで作り手の思いは果たされるので何の問題もない。(4)
- ・再利用されることで役に立っているという実感がわく。(3)

(ウ) 長期保管の困難性や負担の軽減などに関する意見

- ・毎年送られる膨大な量の折り鶴を保管することには限度がある。(9)
- ・捧げた後の折り鶴の取扱いについては、広島市で考えて出した対応策であればどのような方法でも賛同し、全てお任せする。(8)
- ・折り鶴の保管やその後の対応が大変である現状を知り、送る側もその後のことを考える必要があると感じた。(5)
- ・簡便な方法、負担の少ない方法で処理してもらえば良い。(3)
- ・一定期間展示してもらえれば十分である。
- ・本来であれば捧げた人が最後まで責任を持つべきであると思う。
- ・一定期間展示したものは処理されるものと思って送っていた。
- ・折り鶴は折っている時の思いが大切だと思う。

(エ) 昇華方法に関する希望

- ・平和の活動や役立つものに活かしてほしい。(8)
- ・焼き上げなどで処理されることを望む。(7)
- ・再生紙にすることを望む。(2)
- ・鎮魂の「思い」を込めたとうろう流しを継続してほしい。(4)
- ・（ブースに）展示した上で昇華されるのであれば嬉しい。(4)
- ・これからも広島から平和を発信してほしい。(3)
- ・広島にしかできないイベントをしてほしい。
- ・写真を保存してもよいと思う。

イ 支持しない理由

- ・1日でも展示されればあとは役割を終了したものとして処分してほしい。
- ・焼き上げしてほしい。(2)
- ・再生紙にすることには賛成。